

今月の一庫ダム



●雨量、貯水池状況、流況

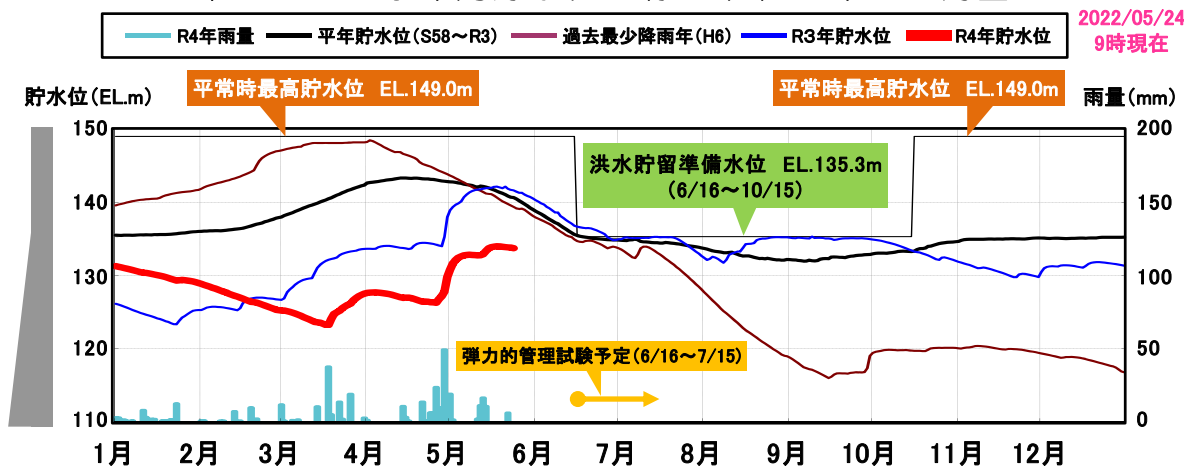
4月の月雨量(ダム流域平均雨量)は114.6mmで、
 平年111.8mmに対し
 約103%の雨量でした。

一庫ダムの下流河川の状況は、利水基準地点虫生(むしゅう)へ19日間、約81万³m³を補給しました。

5月26日現在、
 貯水率は約44.2%です。

(5月23日で取水制限解除となりました。)

一庫ダムの主な年間貯水位曲線と令和4年の日雨量



Topics

出水期前の訓練を行っています。

1 出水時のダム操作の勉強会

一庫ダムでは、6月16日の洪水期が始まるまでに、ダム操作方法の再確認と理解を深めるため、全職員を対象に出水時のダム操作について勉強会を行っています。

ダムの操作は、予め定められたルールに基づいて行う必要がありますので、どのタイミングでどのような通知や操作を行うか、また、通知や操作を行う場合の注意点などについて、全員で議論し、ダム操作方法について理解を深めました。



中身が
 気になる
 虎の巻



2 河川の巡視・警報訓練

ダムのゲートから水を流す前には、必ず川沿いにある警報局舎でスピーカーやサイレンを鳴らしたり、警報車で河川巡視を行い、川の中に人がいないかどうか安全確認を行います。今回の訓練では、河川の巡視を行う時のルートや重点ポイントの確認、警報局舎に異常があった場合の対処方法などについて、訓練を行いました。

出水(さかづみ)とは、台風や前線によって流域に大雨が降ると、その水が川に流れ込み、川の流量が急激に増水します。このような現象を洪水または出水といいます。



目を凝らして
 安全確認!



警報局舎の
 スピーカーと
 サイレン

警報局舎のスピーカーやサイレンが鳴っているときは、ダムのゲートから水を流して、川の水量が多くなる合図ですので、絶対に川には近づかないでくださいね。

スピーカー放送やサイレンの音は一庫ダムHPから確認できます!



3 船の操作訓練

ダムには2艇の船があり、普段はダム貯水池内に異常がないかを確認する巡視や、ダム湖の水質や水に含まれる植物プランクトンを調査する時に使ったりします。それ以外では、魚類調査や出水のあとに貯水池に流れ込んできたゴミの回収などでも使ったりしています。そんな大活躍している船ですが、いざと言うときに、すぐに操作できるように普段から慣れておく必要があります。今回は、職員が船の操作に慣れるための訓練を行いました。



貯水池の状況 (R4.05.10撮影)

貯水位
 EL. 132.76m



利水基準点 (虫生地点) の位置



稚アユの放流体験を開催します!

川西市西野野文珠橋付近で、身近な川の環境の大切さなどを知っていただく機会として、6月12日(日)に環境学習を兼ねた小学生以下のお子様による稚アユの放流体験を行います。



目的

子どもたちに身近な川の環境の大切さなどを知ってもらいつつ、あわせて河川環境改善の取り組みの効果を確認するための稚アユの放流を行ってまいります。

※募集は定員に達したため締め切りました。
 たくさんのご応募ありがとうございました。

日時: 令和4年6月12日(日) 午前10時から1時間程度 (荒天中止)
 場所: 川西市西野野文珠橋付近
 参加費: 無料
 問い合わせ先: (独)水資源機構 一庫ダム管理所
 【電話】072-79416671



ツイッターでも情報やお知らせをいち早く発信しています!

@jwa_hitokura



光に照らされた様々な色の鯉のぼりが、ダムへの深い趣を際立たせてくれました。

今後のライトアップの予定はHPにてお知らせいたします！



暗夜に浮かぶ幻想的な一庫ダム

5月1日は水資源機構の創立記念日で、今年、創立60年を迎えました。それを記念して、5月1日の19時21時に一庫ダムのライトアップを行いました。



水資源機構創立六十周年記念
ダムライトアップ



とても重い鯉のぼり。綱引きのように息を合わせて引き揚げます！

今年も一庫ダムに
コシアカツバメ
2022

がやってきました！



美しい色とフォルム、きりりとした顔立ちをしています。
(*^▽^*)



3年ぶりの
鯉のぼり掲揚

去る4月27日、一庫ダムにて3年ぶりとなる鯉のぼり掲揚を行いました。地域の皆さまの厚意で寄せられた約百匹の鯉のぼりが新緑の中、久しぶりに

毎年、一庫ダムにコシアカツバメが訪れます。コシアカツバメは腰のあたりは赤褐色、頭と背中が光沢のある藍黒色で、ツバメよりも長い尾をした美しいフォルムが特徴です。今年も訪れたコシアカツバメたちは毎日ダムや管理所周辺を元気に飛び回っています。警戒心が強い時期なのか、近づくたびに逃げてしまいましたが、ダム堤体下流に揚げられた鯉のぼりの隣で休む姿をそっと撮ることができました。雛の姿はまだ確認できませんが、せっせと新たな巣を作ったりの様子。一庫の空を元気に羽ばたく姿を、これからも職員一同温かく見守りたいと思います。

春風をまとい元気に泳いでくれました。当日は、恵みの雨がやんだ後に作業開始。ほとんどの職員が3年前の鯉のぼり掲揚を経験していないため、当時の作業手順書を頼りに試行錯誤しながらの作業です。鯉のぼり掲揚のクライマックスは、鯉のぼりを取り付けた親綱の引き上げ作業。これから1年間共にダム管理に邁進する職員の連携が試される重要な作業でしたが、無事に鯉のぼりを掲揚することができました。

▼鯉のぼりの仲間は随時募集しております。家の奥にしまわれた鯉のぼりをもう一度、大空で泳がせたい方、少々傷みがあっても補修して大切に掲揚いたしますので、ぜひとも一庫ダム管理所まで持参または郵送にてお届けください。

一庫ダムの
今昔物語 × 周辺スポット紹介

一庫湯跡に触れる散歩道

一庫ダムの直下流の一庫大路次川沿いに、明治期までは有馬温泉・平野湯・一庫湯と三つ合わせて『撰津三湯』と呼ばれた名泉の一つがありました。

ダム直下の右岸側（西側）には温泉宿があり、対岸の左岸側（東側）から一庫大路次川へ湧き出た温泉を送水用の橋を使って温泉水を供給し、冷泉を沸かして利用していたようです。現在の一庫温泉跡地ではそのような風流な趣をもった風景を見ることはできませんが、左岸側にある温泉場跡地の石垣からは、かつて親しまれた温泉水が今も静かに湧き続けています。当時の一庫温泉に想いを馳せながら、散策してみたいかがでしょうか。

江戸時代に著された『撰津名所図会』には、煙をあげている湯屋と宿と思われる建物が描かれており、当時の様子がかがえます。



温泉宿があった当時の右岸側の様子
現在の右岸側の様子 2022年5月
出典：「一庫ダム 湖底に沈むふるさと」（川西市発行）



独立行政法人 水資源機構
一庫ダム管理所

〒666-0153
兵庫県川西市一庫字唐松4番地の1

TEL:072-794-6671

FAX:072-794-0590



ダム下流にある京風かに料理「和音」さんでは火～金曜日はランチができます！(^^) (詳細はお店にご確認ください)

川を覗くと鯉を発見！

一庫温泉跡あたりは「一庫上ノ畑公園」なっています。



平成29年（2017年）11月に一庫温泉跡の湧水の水質状況を調査したところ、温泉法にもとづく含有イオンから温泉に適合する成分であることを確認しています。

季節のイベント

マス釣り大会開催！

5月1日（日）、「マス釣り大会」（主催：猪名川漁業協同組合）が開催されました。令和元年度以来、3年ぶりの開催にもかかわらず、あいにくの雨でしたがイベントは決行され、初めて釣りをされるお子さまや、上級者さんもたくさん参加されました。大きいもので約40cmのマスが釣れました！



イベントには一庫ダム管理所職員も参加し、会場設営のお手伝いや参加者の安全確保のための巡視会場周辺のゴミの収集を行いました。釣りを終え、天に変わり、参加者全員に景品が配られると閉会となり、無事イベント終了となりました。